



# 学校の詩

令和2年 4月25日  
大野城市立御陵中学校  
校長 藤井 浩彦

## 新入生の皆さんを心から歓迎します！！

【新入生の皆さんへ】

123名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんが入学してくることを、御陵中学校の先生方すべてが心待ちにしていました。

早く入学したい！早く登校したい！早く先生達と出会いたい！早くたくさんの友達と話したい！早く…と、たくさんの願いや思いの中で過ごしていたのではないのでしょうか。今日は、入学手続きだけではありませんでしたが、担任の先生と少しの時間、話ができたのではないかと思います。短時間だったのですがまだまだ不安も大きいかもしれませんが、これから担任の先生をはじめ多くの先生方と、そして保護者の方と協力しながら、皆さんのために精一杯取り組んでいきたいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。

さて、御陵中学校は「凡事徹底（ほんじてってい）」という言葉大切にしてきた歴史があります。凡事徹底とは、当たり前のこと（ひとつのこと）を誰にも負けないぐらい徹底して行うことです。例えば、心のこもった「立ち止まって挨拶」がいつでもどこでも誰にでもできる。心を磨く「無言清掃」が徹底してできるなど、これからもそのことは大切にしたいと考えています。そして、本年度から学校の教育目標（目指すべき生徒の皆さんの姿）を

『自律貢献 ～夢の実現へ向けて、やり抜く力と豊かな人間性を身につけ、

地域・社会に貢献できる生徒の育成～』

として、新たな一步を踏み出そうとしています。「自律貢献（じりつこうけん）」を、生徒の皆さんはもちろんのこと、先生方も、そして保護者の方も地域の方も意識して取り組んでいけたらと思います。この言葉を掲げました。「自律貢献」は、「自律」と「貢献」をあわせた言葉です。「自律」とは、志をもち、自ら考え、よりよい行動をとることができることです。すなわち、将来の夢や目標に向けて、計画的に粘り強く学習を進め、課題を解決していこうとすること。また、先ほど述べた挨拶がきちんとできる・時間を守る・心を込めて掃除をするなどの「凡事徹底」を基本として、周りの人と協力して物事を進めていくことです。「貢献」とは、人のために行動する、相手意識をもって行動するということです。要するに、周りの人への思いやりや目配り・気配り・心配りができるということです。また、学級や学校のために貢献することはもちろんのこと、地域・社会に貢献し、活躍できる人であってほしいということです。4月1日に先生方にもこのことを伝え、皆さんで力を合わせて頑張っていこうと確認をしました。

現在、新型コロナウィルスの影響で学校はお休みの状態です。5月7日に再開の予定ではありませんが、どうなるかはわかりません。それでも、私たちは前を向いて頑張っていくしかないのです。私たちよりもっともっと苦しい人、そして厳しい状況の中、ウィルスと闘っている方がいます。「命」と毎日向き合い、「命」をかけてかけがえのない「命」を守ってくださっている方がいます。休みたくても休めない状況で、私たちの毎日の生活を支えてくださっている方がたくさんいます。この状況は、もしかすると私たち人間が試されているのかもしれませんが、こんなにも苦しく厳しい状況の中で、人を思いやり、人に感謝し、命あることに感謝し、どうしたらいいのか、何をすべきなのかを考えて行動する。世界中の人が力を合わせ解決していかなければならない大きな課題です。それを解決していくときにも「自律貢献」の精神が大切なのだと思います。これから御陵中学校の生徒として、誇りと自信をもって皆さんが生き生きと生活できるよう御陵中学校の先生達は、熱い心で皆さんと共に頑張っていきたいと考えています。自粛の日々が続きますが、今大切なことは、感染を防ぎ命を守ること、そして、限られた中でできることを地道に続けることです。共に頑張っていきましょう！！

【保護者の皆様】

お子様のご入学、誠におめでとうございます。入学式を楽しみに待たれていた中で、入学手続き会に変更となり、本当に申し訳ございません。まだまだ先行き不透明な部分が多いかと思いますが、私たち教職員一同、新型コロナウィルス一刻も早い終息を願いつつ、できることを精一杯に取り組んでいきます。「教育＝共育」だと考えております。子ども達の笑顔と未来のために、学校・家庭・地域が連携し、共に教育にあたる。そして、子どもと共に伸びる大人でありたいと思っています。これから、本校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。